

令和元年度第3回上尾市地域公共交通活性化協議会次第

日 時 令和2年2月12日（水）
午前10時00分から
場 所 上尾市プラザ22 第2会議室

1 開 会

2 議 事

- (1) 上尾市地域公共交通網形成計画および
上尾市地域公共交通再編実施計画の評価について
- (2) 令和3年度市内循環バスぐるっとくん再編実施方針（案）について
- (3) その他

3 閉 会

【計画の評価について】

1. 上尾市地域公共交通網形成計画の評価

(1) 評価対象となる4つの数値目標

上尾市地域公共交通網形成計画では、下記の4つの数値目標を設定している。

数値目標 1 市内バスの主な交通手段としての利用率の増加を図る

(平成 25 年度 民間路線バス 7.2% 市内循環バス 1.4% より増加)

数値目標 2 高齢者の外出回数増加を図る

(平成 25 年度 週 3 回以上の外出割合が 65-74 歳 62.4%、75 歳以上 46.2% より増加)

数値目標 3 市内循環バスの収支率 (年間全路線合計) の改善を図る

(平成 25 年度 収支率 28.6% より増加)

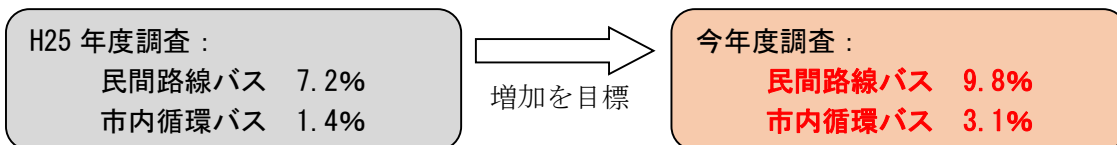
数値目標 4 市内バスの総合的な満足度の向上を図る

(平成 25 年度 民間路線バス 29.8% 市内循環バス 9.4% より増加)

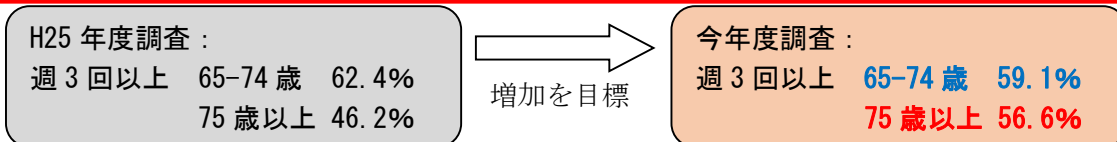
数値目標 1, 2, 4 については、第 2 回上尾市地域公共交通活性化協議会で報告をおこなったアンケートにて評価をおこなっているため、数値目標 3 について評価する。

なお、数値目標 1, 2, 4 の結果は以下のとおり。

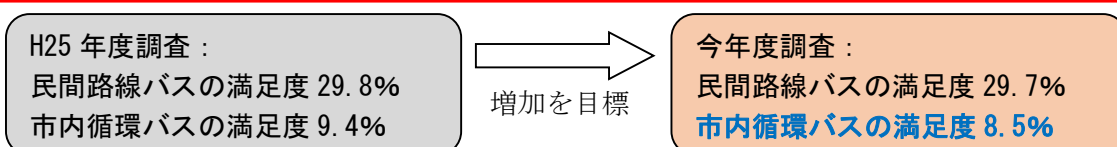
<計画での数値目標>

数値目標 1 市内バスの主な交通手段としての利用率の増加を図る

※最も多い外出の移動手段として、市内循環バスまたは民間路線バスを利用する比率

数値目標 2 高齢者の外出回数の増加を図る

※最も多い外出の外出回数

数値目標 4 市内バスの総合的な満足度の向上を図る

※市内循環バス、民間路線バスの総合評価

(2) 評価結果

■数値目標3（市内循環バスの収支率（年間全路線合計）の改善）について

1日当たり運行経費及び収入は増大しているが、運行経費の増加幅が大きく収支率は平成28年と比較して、減少となっている。

引き続き、収支率改善・利用者数の増加を目指し、利用環境の改善を一層推進する。

	1日当たり 運行経費（円）	1日当たり 収入（円）	1日当たり 収支（円）	収支率（%）
平成25年度	411,211	117,683	△293,528	28.6
平成28年度	436,152	104,657	△331,495	23.9
平成29年度	440,214	106,651	△333,563	24.2
平成30年度	454,419	109,900	△344,519	24.2
令和元年度（12月末 までの平均）	485,450	113,222	△372,228	23.3

2. 上尾地域公共交通再編実施計画の評価

(1) 評価対象となる3つの事業

上尾市地域公共交通再編実施計画では、下記の3つの事業をあげている。

事業1 市内循環バスの再編

市内循環バスは、民間路線バスに対するフィーダー系統としての役割分担に基づき、現行6路線から9路線に再編し、利便性・サービス水準の向上を図る。

事業2 桶川市市内循環バス「べにばなGO」との乗り継ぎ割引運賃の設定

市内循環バスの桶川駅西口への延伸により上尾市と桶川市との広域的な地域公共交通網の形成を促進するため、桶川市市内循環バスとの乗り継ぎ割引運賃を設定する。

事業3 総合時刻表の作成

行き先や目的にあった交通手段の選択を容易にする総合時刻表を作成する。市内公共交通機関の時刻表やルートマップ、バスの乗り方等を分かりやすく掲載する。

(2) 実施結果

■事業1 (市内循環バスの再編)

市内循環バスの再編に関して、利用者数のデータを次に示す。再編前後に路線全体の利用者が大きく減少していたが、その後利用者数は増加しており、平成30年度に再編前の利用者数を上回った。平成31年度においても増加傾向である。

引き続き総合時刻表等を活用した周知やその他施策により今後の利用者数の推移に着目する必要がある。

障害者割引利用者数の推移を見ると、サービスを開始した平成28年2月以降、利用者数が大幅に増加し、利用者のサービス向上の成果が確認できる。

<市内循環バス「ぐるっとくん」の利用者数>

平成27年度

再編前（～H28.1.31）

路線名	人数（人）
原市循環	58,073
大石循環	66,253
上平循環	40,425
大谷循環	102,936
平方循環	52,407
東西循環	65,697
合計	385,791
1日平均	1,260

再編後（H28.2.1～）

路線名	人数（人）
大石桶川線	5,694
大石領家北上尾線	6,230
平方丸山公園線	4,745
平方小敷谷循環	8,489
大谷循環	20,782
上平箕の木循環	4,218
上平菅谷北上尾線	4,502
原市平塚循環	6,697
原市瓦葺線	4,256
合計	65,613
1日平均	1,093

年度合計	451,404
------	---------

路線名	乗車人数（人）			
	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
大石桶川線	36,464	36,645	37,396	30,244
大石領家北上尾線	39,284	44,590	47,941	39,508
平方丸山公園線	29,651	28,420	28,641	21,938
平方小敷谷循環	53,030	48,778	50,991	40,641
大谷循環	128,472	131,384	139,315	111,747
上平箕の木循環	26,963	28,722	30,147	24,308
上平菅谷北上尾線	34,232	37,050	38,215	32,222
原市平塚循環	49,456	55,168	60,402	47,079
原市瓦葺線	29,923	32,325	35,214	28,532
合計	427,475	443,082	468,262	376,219
1日平均	1,171	1,213	1,282	1,368

※H31年度については、4月から12月までの乗車人数

<障害者割引利用者数>

H27年度		介護者（2・3月は手帳利用者含む）											
介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
東武バスウエスト	28	35	31	15	30	20	15	15	15	20	437	808	1,469
協同バス	11	23	15	20	13	7	10	12	9	11	105	144	380
丸建自動車	17	5	9	6	11	14	14	16	18	2	47	32	191
小計	56	63	55	41	54	41	39	43	42	33	589	984	2,040

H28年度		手帳利用者・介護者											
介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
東武バスウエスト	909	968	1,165	1,182	1,268	1,410	1,762	1,522	1,700	1,555	1,663	2,070	17,174
協同バス	202	283	333	364	375	258	408	376	387	424	360	372	4,142
丸建自動車	74	52	355	343	291	302	329	311	524	484	431	466	3,962
小計	1,185	1,303	1,853	1,889	1,934	1,970	2,499	2,209	2,611	2,463	2,454	2,908	25,278

H29年度		手帳利用者・介護者											
介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
東武バスウエスト	2,046	2,009	1,972	2,026	1,913	1,925	2,186	1,988	2,120	2,021	2,000	2,484	24,690
協同バス	376	412	411	482	473	452	457	454	521	442	435	410	5,325
丸建自動車	441	558	520	630	623	640	660	576	546	493	541	527	6,755
小計	2,863	2,979	2,903	3,138	3,009	3,017	3,303	3,018	3,187	2,956	2,976	3,421	36,770

H30年度		手帳利用者・介護者											
介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
東武バスウエスト	2,652	2,499	2,569	2,598	2,382	2,366	2,795	2,524	2,613	2,333	2,480	2,624	30,435
協同バス	449	476	415	429	546	683	466	668	709	760	684	832	7,117
丸建自動車	526	556	488	626	471	657	641	648	469	538	553	677	6,850
小計	3,627	3,531	3,472	3,653	3,399	3,706	3,902	3,840	3,791	3,631	3,717	4,133	44,402

H31年度		手帳利用者・介護者											
介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
東武バスウエスト	2,695	2,809	3,004	3,564	2,975	2,801	2,912	2,546	3,018				26,324
協同バス	704	778	757	846	802	876	943	787	857				7,350
丸建自動車	676	602	603	598	629	656	711	729	797				6,001
小計	4,075	4,189	4,364	5,008	4,406	4,333	4,566	4,062	4,672				39,675

※割引制度（無料乗車対象者）

H28.1.31 まで

- ・身体障害者手帳及び療育手帳第1種所持者の介護者1名

H28.2.1 から

- ・身体障害者手帳及び療育手帳第1種所持者の介護者1名
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の全ての所持者

■事業2（桶川市内循環バス「べにばなGO」との乗継割引運賃の設定）

桶川市内循環バス「べにばなGO」との乗継割引運賃の設定後、上尾市・桶川市の双方向で利用されており、広域的な地域公共交通網形成促進に寄与しているといえる。利用人数は上昇傾向であるが、引き続き周知活動を推進する。

<乗継割引券発行枚数>

H28年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
上尾市→桶川市	10	14	12	8	15	9	26	8	13	6	2	6	129
桶川市→上尾市	2	6	0	4	1	0	1	0	0	1	1	2	18
小計	12	20	12	12	16	9	27	8	13	7	3	8	147

H29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
上尾市→桶川市	7	12	5	2	5	4	2	11	5	0	0	0	53
桶川市→上尾市	0	2	0	2	2	0	0	0	0	5	0	3	14
小計	7	14	5	4	7	4	2	11	5	5	0	3	67

H30年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
上尾市→桶川市	25	15	11	0	6	17	8	10	18	9	12	8	139
桶川市→上尾市	1	0	0	2	0	0	2	3	0	0	0	0	8
小計	26	15	11	2	6	17	10	13	18	9	12	8	147

H31年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
上尾市→桶川市	23	20	28	20	34	26	24	35	37				247
桶川市→上尾市	0	0	1	0	0	0	0	0	0				1
小計	23	20	29	20	34	26	24	35	37	0	0	0	248

■事業3（総合時刻表の作成）

総合時刻表については、今年度は下記の通り配布。

作成部数	2,000部
配布先	市内公共施設、主要駅（4か所）等 20か所

・平成30年度より、市のホームページにて公開している。

令和3年度 市内循環バス「ぐるっとくん」再編実施方針（案）

1. 市内循環バス「ぐるっとくん」の現状

①運行、利用状況の概要

- 市内循環バス「ぐるっとくん」は平成28年2月運行再編を行い、現在は9路線（車両10台使用）で運行しています。各路線の運行本数は、1日4便～13便となっています。（利用状況や路線長により異なる）
- 平成28年2月の再編以降、一時的に乗車人数は減少しましたが、平成29年度以降回復傾向にあり、平成30年度には、再編前の水準を上回っています。
- 一方、障害者や介護者など、無料対象者の拡大により、収支率は再編前から低下し、現状は24%程度で推移しています。
- 平成28年2月の再編以降、運行内容は大きく変化していませんが、燃料費や人件費の上昇により、運行経費は年々増加しています。
- 上尾駅周辺での混雑により、朝夕は10分程度の定常的な遅れが発生しています。

<市内循環バスの状況>

	H27年度 (再編前)	H28年度	H29年度	H30年度
乗車人数(人)	451,404	427,475	443,082	468,262
1日当たり 運行経費(円)	423,126	436,152	440,214	454,419
収支率	27.4%	23.9%	24.2%	24.2%
年間運行経費(円)	154,864,054	159,195,522	160,678,184	165,863,058

②社会情勢

- バス業界全体の傾向として、運転手不足、大型二種免許保有者数の減少や新たな取得者の減少が顕著であり、都市部でも路線の廃止や減便が顕在化しています。

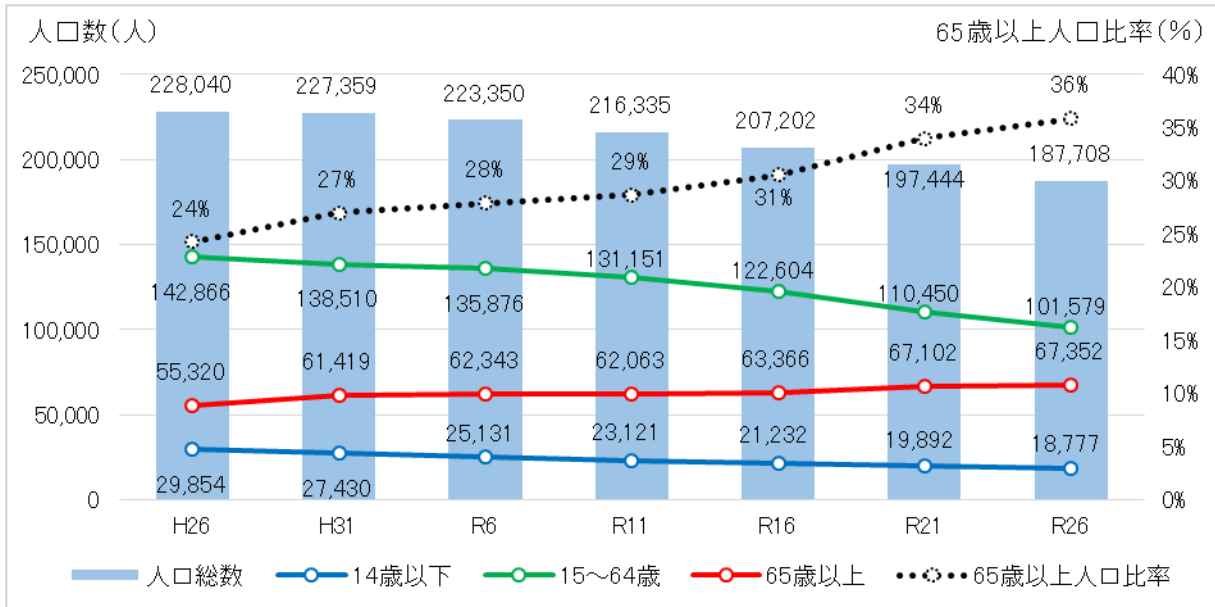
<大型二種免許所持者数の推移>

	H21年末	H28年末	H29年末	H30年末
全体(人)	1,089,135	942,526	919,242	896,197
65歳以上(人)	447,049	424,673	416,421	406,611
65歳以上割合	41%	45%	45%	45%
H21からの変動率	—	△13%	△16%	△18%

■上尾市では 65 歳以上の人口数が今後長期的に増加すると予測されています。

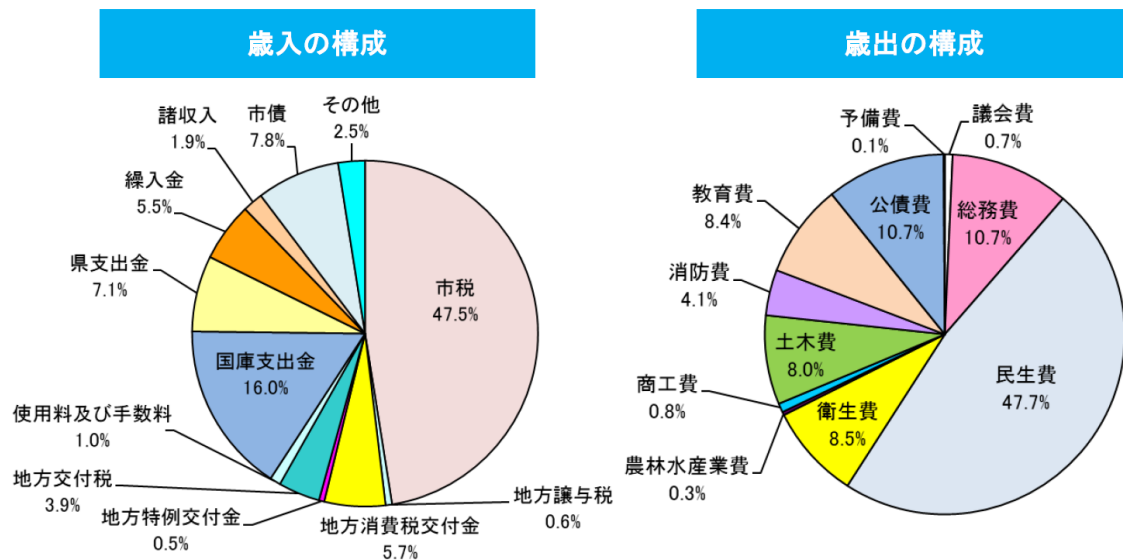
■高齢者による交通事故が全国的に相次いで発生しており、運転免許証自主返納に対する関心が高まっていることから、公共交通を必要とする高齢者は今後増加すると考えられます。

<上尾市の人口の推移（上尾市人口ビジョンより）>



■市の財政支出に占める民生費の構成比は 47.7%となっており、今後の高齢者増を踏まえると社会福祉費用の更なる増加も考えられます。

<上尾市予算の歳入、歳出内訳（平成 31 年度上尾市予算資料より）>



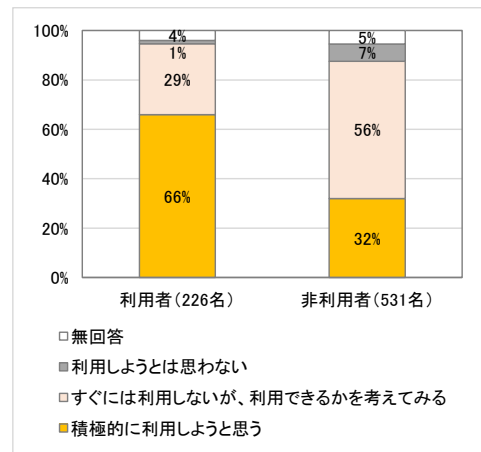
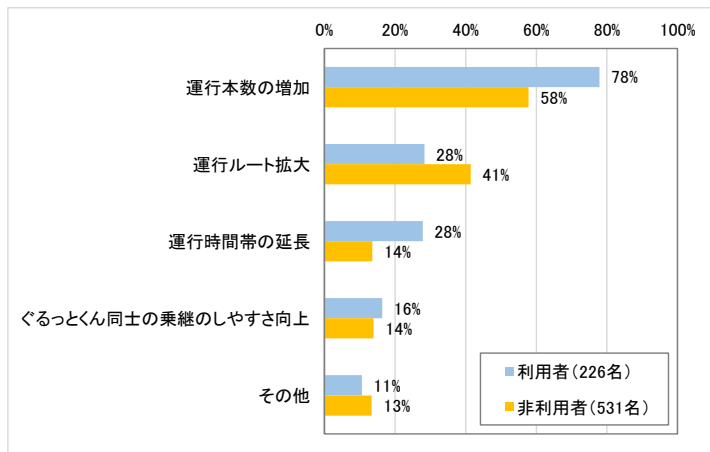
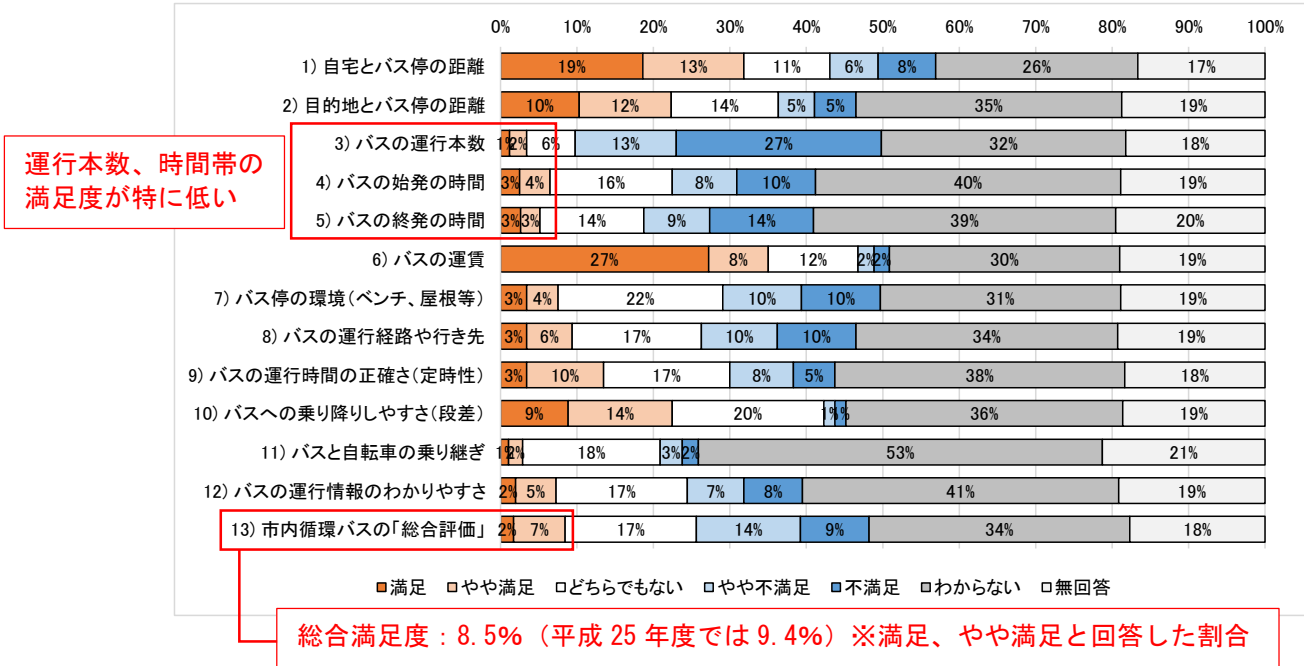
③市民、利用者の意見

■市内循環バスへの満足度は平成 25 年度から平成 30 年度にかけてほぼ横ばいとなっており、総合的な満足度は 8.5%と低い状況です。運行本数や運行時間帯に関する満足度が特に低くなっています。

■改善要望としては、利用者、非利用者ともに運行本数の増加が最も高く、利用者は次点で運行時間帯の延長、非利用者は運行ルート拡大が多くなっています。

■改善による利用意向は非利用者においても 3 割程度みられます。

<市内循環バス「ぐるっとくん」の満足度（令和元年度実施の市民アンケート調査より）>



■このほか、市民アンケート調査での自由意見として、以下が多くなっています。

- ルートが長く複雑であるため、短く簡潔な路線にしてほしい
- 朝夕を中心に発生している遅れの解消をしてほしい
- 高齢者が利用しやすい工夫（免許返納者や高齢者への優遇、フリーパス等）をしてほしい

2. 市内循環バス「ぐるっとくん」の再編実施の必要性

①市民ニーズへの対応

- 平成 28 年 2 月に路線の再編事業を行い、長大路線及び重複路線の解消を行いました。すべてを解消できたわけではありません。
- 上尾市の公共交通に関するアンケート調査結果によると、市内循環バスに対する満足度は、再編実施後から向上していません。要望についても運行本数増、ルート拡大、高齢者への対応の充実などが引き続き見られます。
- 今後、高齢者や免許返納者が増えていくと見込まれることから、公共交通への需要が高まるものと想定されます。

②民間路線バスとの役割分担

- 市内循環バスは路線バスが運行していない地域での補完的な運行を基本としていますが、一部地域では路線バスとの重複が依然として発生しています。
- 民間路線バスと市内循環バスの役割を明確化させ、分担することにより、市内の公共交通全体の利便性を向上させることが必要です。

→現状のままではルートや運行本数など、市民のニーズに対応しきれず、高齢者の増加など今後の社会状況へも対応できないため、運転手不足による路線バスへの影響や少子高齢化の影響が本格化する前の現段階で、抜本的な見直しが必要です

<再編における制約条件>

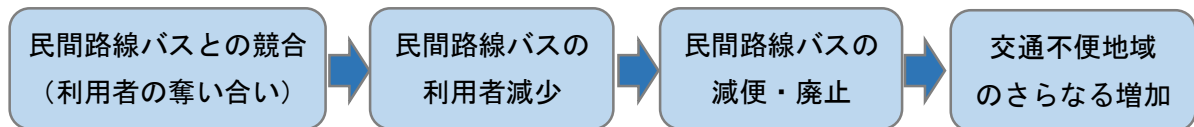
※現在の運行ルートを維持した上で運行本数を増加する場合は、運行車両の増車による増便が不可欠となるが、昨今の運転手不足を踏まえ、事業者での大幅な増車（運転手確保）が非常に困難な状況にあります。

3. 市内循環バス「ぐるっとくん」再編のコンセプト

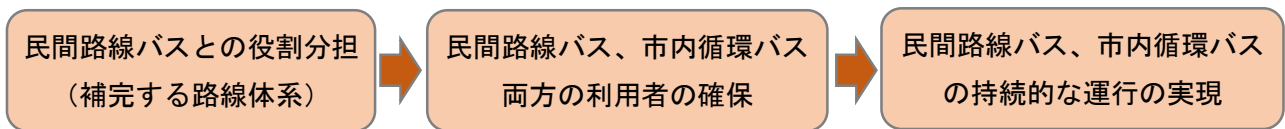
■市内で高頻度に運行する民間路線バスを補完する交通手段として、市内循環バス「ぐるっとくん」のコンセプトは以下の通りとします。

- 民間路線バスでの運行が困難な交通不便地域等をカバー
- 市内公共交通全体の活性化のため、民間路線バスと市内循環バスの相互で持続可能な交通体系を構築
- 民間路線バスとともに、高齢者、障害者の外出機会を創出し、健康増進を促す

<現在の状況が続くと考えられること>

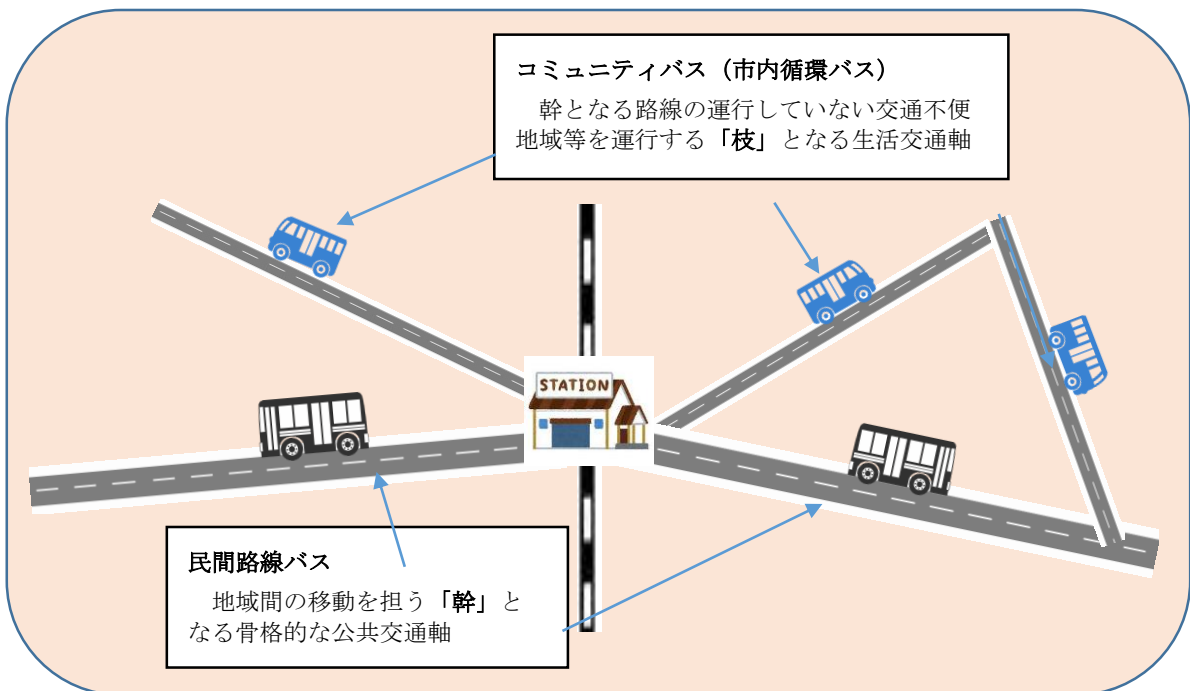


<見直しにより目指す姿>



交通不便地域…半径 300m以内に鉄道駅及び民間路線バス停が存在しない地域を交通不便地域と定義する。

公共交通の定義…移動手段には不特定多数の乗合輸送と特定の個別輸送があります。本再編実施方針における公共交通とは、鉄道や民間路線バス等の定時定路線型の移動手段と定義し、ドアツードアのサービスが求められる福祉輸送等とは区分します。



4. 市内循環バス「ぐるっとくん」の再編の方針

■現状や今後想定される課題を踏まえ、市内循環バス「ぐるっとくん」の再編方針を以下の通り設定します。

現状、今後想定される課題

- 運行本数や時間帯、ルートなど、市民のニーズに対応しきれていない
- 民間路線バスとの重複が一部残っており、役割分担による効率的な運行が必要
- 今後想定される高齢者や免許返納者の増加等をふまえた運行内容が必要

制約条件

- 運転手不足が深刻化しており、車両、運転手の大幅な追加は困難
- 原則、現在の資源（車両、運転手）に基づく対応を検討

再編の方針

- ①交通不便地域等を解消するルートを優先的に設定する。
- ②民間路線バスを維持する観点から、民間路線バスルートとの重複を避ける。
- ③運行便数増加を目指し、効率的なルート設定とする。
- ④路線長を短縮して運行便数の増加を図る。

※道路の運行要件

- ・相互通行の場合、車道の幅員は車両幅の2倍より50cm以上広いこと
- ・一方通行の場合、車道の幅員は車両幅より50cm以上広いこと
- ・高さや幅員、重量等の規制のある場合それに適応していること
- ・通行に支障のある起伏のないこと

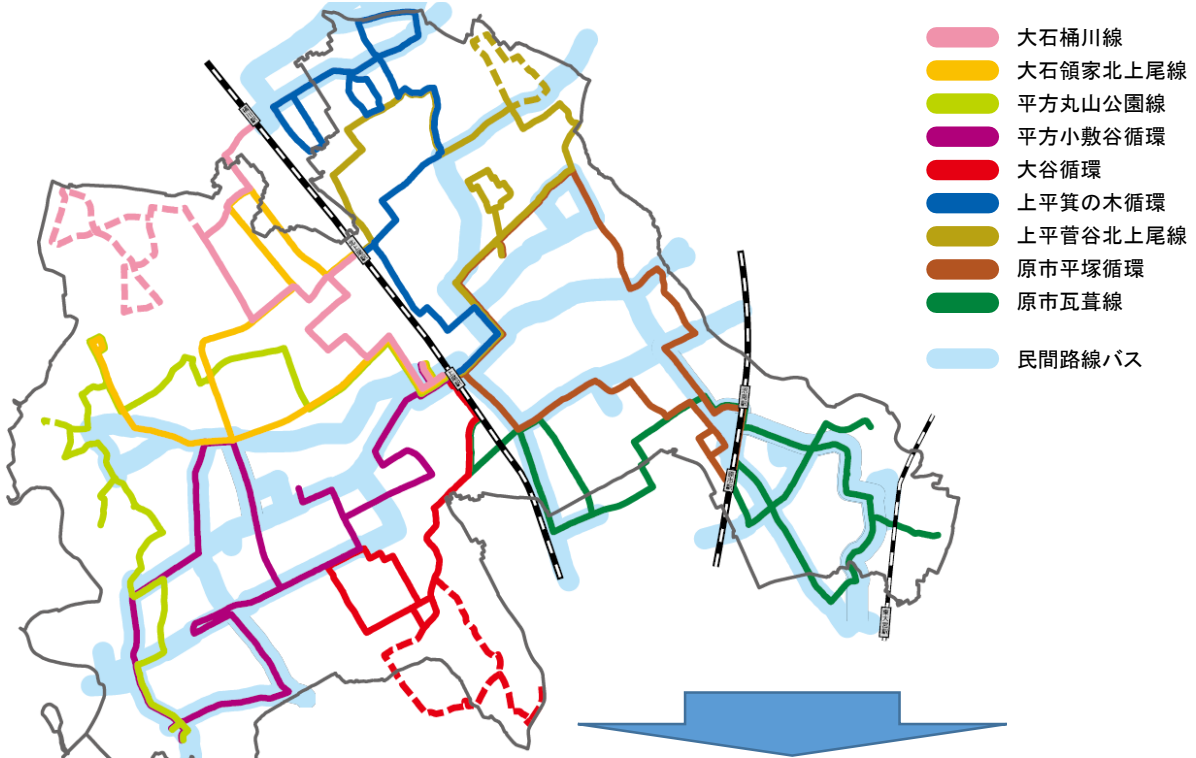
目指す姿

- 民間路線バスと連携し、市内で公共交通を必要とする地域では1時間に1本程度の運行本数を確保

再編後の運行ルートイメージ図

現在：市内全域に上尾駅から乗継なしで移動可能な路線体系

→市内全域を網羅するが、路線長が長く、民間路線バスとの重複もあり、本数も少ない



再編後：民間路線バスとの重複を極力なくし、運行エリアを限定

→市内全域の運行とはならないが、民間路線バスが運行しないエリアでの運行本数を確保



※運行ルートの詳細は次年度検討

5. 再編後の運行サービスの方針（案）

①運行日、運行時間帯

運行日：年中無休（日曜・祝日については、上尾中央総合病院バス停には停車しない）

運行時間帯：主に7時台～20時台までの運行とする。

→現在と同様

②運行本数

現在：各路線4便～13便

再編後：各路線1時間に1本程度の運行本数を指す

③運賃体系

現在：1乗車100円※

再編後：1乗車100円

シルバーパス、通勤・通学定期券発行の検討

※無料対象者は以下の通り

- ・未就学児
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の全ての所持者
- ・身体障害者手帳第1種又は療育手帳第1種所持者の介護人1人

④運行車両

現在：小型バスもしくは中型バス車両

再編後：小型バス、中型バス、ワゴンタイプ車両（需要に応じて検討）

6. 運行改善判断の基準の設定

■路線ごとの年間乗車人数を指標として、路線の運行改善を検討します。

⇒2年連続で乗車人数が減少した路線については、運行改善を検討

- ・運行頻度の見直し
- ・運行日の見直し
- ・運行ルートの見直し 等

市内循環バス「ぐるっとくん」の再編に向けた今後のスケジュール（案）

	令和元年度	令和2年度				令和3年度			
	1月～	4月～	7月～	10月～	1月～	4月～	7月～	10月～	1月～
検討内容	再編方針設定	再編内容の詳細検討			再編内容の決定	再編実施の各種準備			再編実施後のモニタリング
事業者調整		各運行事業者と運行ルート調整・詳細案の作成			再編ルートの申請書作成依頼	運輸局に再編ルート申請（4カ月程度）			
市民への説明		住民説明会（広報により周知） 再編実施方針に基づき説明				チラシ回覧依頼・回覧			
協議会	● 第3回協議会（本日） 再編実施方針の提案・意見聴取	● 第1回協議会 再編実施方針の決定	● 第2回協議会 詳細ルート案説明	● 第3回協議会 再編確定ルートの報告	● 第1回協議会 再編の進捗状況の報告	● 第2、3回協議会 実施状況の報告 再編による影響等の報告			
市議会		● 再編実施方針及び 住民説明会の内容報告		● 再編確定ルートの報告		● 回覧チラシの内容報告			
運行準備						● 運行準備 ・時刻表等印刷 ・バス停撤去・時刻表張替			● 再編運行開始予定 （R3年10月～）

凡例

- 上尾市域
- 路線バス停
- ぐるっとくんバス停
- 路線バスルート
- ぐるっとくんルート
- 路線バス停300m圏域

